



下駄の魅カ ダンスで世界に

28日、日本対アイルランド戦 エコパで披露

静岡市のダンス教室「MJＣ静岡教室」（内川麻衣子代表）の生徒は28日、ラグビーワールドカップ（Ｗ杯）の日本対アイルランド戦が行われるエコパスタジアム（袋井市）で下駄（げた）ダンスを披露する。18日に静岡市内で最終練習に励んだ生徒たちは「静岡の伝統工芸の下駄を発信できれば」と意気込んでいる。

静岡市の教室生

**ラグビー
W杯**
20日開幕

りどりの浴衣を着用し、「千本桜」（和楽器バンド）のリズムに合わせて動きを確認した。

同ダンスは下駄を床に打ち付け、軽快な音を鳴らしながら手足を動かす。この日の練習では、子どもから高齢者まで幅広い年代の生徒たちが色と

内川代表は「振り付けは下駄を打ち鳴らす部分を多くしてある。海外の人に魅力を伝えられたら」と話す。本番では、MJＣ富士教室の生徒たちも下駄ダンスなどを上演する予定。

ラグビーワールドカップの会場で披露する下駄ダンスの練習に励む生徒＝静岡市駿河区

（社会部・岩下勝哉）